

国語・数学・英語の力と学習の様子

～平成31年度 全国学力・学習状況調査（2019.4.18実施）の結果から～

越前市武生第五中学校

【全国学力・学習状況調査の目的】

文部科学省が中学校第3学年を対象として、全国的な生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることを目的に実施しています。

今年度は、国語、数学、英語、質問紙の4つの調査を行いました。英語では、初めて調査（聞く、読む、書く、話すの4技能）を行い、話すことについては音声録音方式で実施しました。質問紙調査とは、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する調査のことです。

【国語の分析】

「良好」であること

「書くこと」の領域の正答率が高く、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する力や、伝えたい事柄について根拠を明確にして書く力がついています。これは、月1回行っている新聞コラム視写、授業や定期テストにおける課題作文練習の効果が表れていると考えられます。

国語の平均正答率

- 武生五中
- 県
- 全国 (72.8)

「読むこと」の領域の正答率が高く、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える力や、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、感じたことや考えたことを書く力がついています。これは、キーワードを意識したり、必要な情報を探したりして、文章を読み取る練習の効果が表れていると考えられます。

「課題」であること

「話すこと・聞くこと」の領域で、話し合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる問題に課題が見られました。対話や討論など、言語活動を取り入れた授業を行うなかで、「相手の考え」と比較して「自分の考え」をまとめる力を養っていきます。

言語についての知識・理解・技能「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の字形を整え、文字の大きさや配列などを理解して、封筒の宛名を書く問題で誤答が多く見られました。日常に生かす書写として、封筒の宛名書きや往復葉書の書き方、荷物の送り状の書き方などの学習を今後も継続していきます。

【数学の分析】

「良好」であること

「数と式」「図形」「データの活用」の領域で力がついています。これは毎回の授業の最初に既習事項について復習したり、既習の前後の関連性について指導したりしてきたことにより、基礎基本の内容がきちんと定着している成果であると思われます。無回答率も低い結果となっています。

数学の平均正答率

- 武生五中
- 県
- 全国 (59.8)

「課題」であること

「関数」の領域の中の反比例の問題で、 x と y の式を求める問題に課題があります。グラフを利用して求める問題で、やや誤答が見られました。表やグラフから意味するものをきちんと意識することが大切です。

「図形」の領域で、図形の形が変わると誤答が見られました。自分で図形を変えて考えられる力をつけていく必要があります。

「数と式」の領域の規則性の問題では、説明できる力をつけることが求められます。

上記の課題について、各領域での基本事項を定着させ、自分で説明できる力を身につけていける授業展開をし、いろいろな問題に対応できる力を育成していきます。

【英語の分析】

「良好」であること

「読むこと」の領域の正答率が高く、日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を正確に読み取る力や、まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解する力がついています。これは設問に対して根拠を明らかにして解答をする練習や、本文の概要を理解し、その内容について自分の考えを書く練習の効果が表れていると考えられます。

英語の平均正答率

- 武生五中
- 県
- 全国 (56.0)

「話すこと」の領域の正答率が高く、基本的な表現を理解して応答する力や、与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話す力がついています。これは授業の冒頭10分間に、学習した表現を用いてペアやグループになって話す練習や、単元の最後に自分の意見を英語でまとめたものを発表する練習を繰り返し行ってきたことの効果が表れていると考えられます。

「課題」であること

「書くこと」の領域で、与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を書く問題に課題が見られました。与えられた英文の主語や時制などが変化した場合などに、動詞を適切な形に変化させる練習や、学習した表現を用いて話すだけでなく、その内容について英語で書く活動を取り入れていきます。

「聞くこと」の領域では、聞いて把握した内容について適切に応じる問題に課題が見られました。聞いた内容について自分の考えを英語で書いたり、聞いた内容の概要を英語で述べたりする練習を行い、課題の克服に努めていきます。

【質問紙の分析】

「良好」であること

- ・家庭に関することでは、全国平均や県平均と比べて、朝食や起床・就寝時刻などの基本的な生活習慣がきちんと身につけています。「3点固定」などに取り組んだ成果が表れました。
- ・学校に関することでは、総合的な学習の時間の調査活動に積極的に取り組んでいます。また、みんなと話し合い、協力して取り組んでうれしかったことがある生徒も多く、今後もグループでの探究活動を積極的に学習に取り入れていきます。
- ・地域に関することでは、地域の行事に参加して、各活動に取り組めたと感じている生徒が非常に多いです。地区体育祭では、スポーツ協会の方から感謝の言葉を直接生徒に伝えていただきました。

昨年課題であったことがきちんとできるようになってきています。今後も、家庭、地域の協力を得て、生徒の力を高めていきます。

「課題」であること

- ・地域に関することで、地区の体育祭や夏祭りに多くの生徒が参加しているにもかかわらず、地域や社会をよくするには何をすべきかを考えている生徒が増えていません。
- ・外国人との交流には、やや消極的な考えの生徒が多いです。
- ・将来は、積極的に英語を使いながら生活をし、職業に就くなどの考えを持っている生徒は少ないです。

今後も地域に根ざした体験活動を通じて地域との交流を密にし、地域に対する愛着を高めていきます。また、今まで以上に、視野を広げたグローバルな考えが必要となっているので、多様な文化や考えを持つ人と共生できるような生徒の育成に努めます。